## 業務経験説明書・自己アピール書 提出前チェックリスト

書類提出前に必ず各項目について確認くださるようお願いします。 チェックリストを提出する必要はありません。

## 【すべての書類】

申請時点で最新の認定審査実施要項を参照し、かつ最新の様式を利用している。
よくある質問(Q&A https://www.crams.or.jp/faq/)を参照して、記述内容に適切に反映
している。
様式は改変していない(様式の枠は変更不可。縦方向に枠(行)の追加は可)。
文字サイズは、基本的に 10.5 ポイントを使用している。
和暦ではなく,西暦で統一している。
指示通りのページ数で内容をまとめている。
緑字で書かれた説明や指示は削除している。その他不要な部分を削除している。
誤字・脱字や必要事項の記入漏れの有無について、最終確認している。

## 【業務経験説明書】

「学位・資格等」の欄には, <b>URA 業務に関係するもの</b> を記入している。
「学位・資格等」の欄は, <b>現在から過去の順</b> に記入している。
「略歴」の欄には, <b>直近の過去5年間</b> が含まれている。
「略歴」の欄は, <b>現在から過去の順</b> に記入している。
「URA 業務経験(具体的内容と役割)」の欄には,申請者自身が経験した URA 業務の内
容とその業務における申請者の役割等を <b>具体的</b> に記入している。
「URA 業務経験(具体的内容と役割)」の欄には,所属部署の成果ではなく,申請者自身
の成果として, どのような寄与をしたか及び扱った件数·金額等を <b>具体的</b> に記入している。
「URA 業務経験(具体的内容と役割)」の欄において,我が国の大学等における URA 業
務の経験年数が、認定審査の申請期間の <b>締切日時点</b> の直近5年間の中で合計3年以上であ
ることが分かる記述になっている。
「URA 業務経験(具体的内容と役割)」の欄で、URA 業務の経験年数に我が国の大学等
以外における経験年数の1/2を算入した場合には,その経験が我が国の大学等における
URA 業務に資する可能性があることが説明されている。
所属長(以上、あるいそれに準ずる関係者)の署名(自筆)を貰い、署名日(自筆)が記
入されている。
申請者本人が署名(自筆)している。
スキャナで取り込んだ業務経験説明書において、署名は視認性を確保している。

## 【自己アピール書】

次の2つについて、項目立てをした上で説明している。
● 特にアピールしたい URA 業務(複数可)の経験
● その経験において、申請者の自立的な問題解決能力を証明する自身の役割・貢献
上記の説明においては、申請者の役割や貢献の内容・業務に対する責任や扱った件数・金
額等について <b>具体的</b> に記入している。